

# 2024年度 大学院研究科共通 講義概要 (シラバス)



法政大学

# 科目一覧

[発行日：2024/5/1] 最新版のシラバスは、法政大学Webシラバス (<https://syllabus.hosei.ac.jp/>) で確認してください。

## 凡例 その他属性

〈他〉：他学部公開科目

〈優〉：成績優秀者の他学部科目履修制度対象科目

〈S〉：サーティフィケートプログラム\_SDGs

〈ダ〉：サーティフィケートプログラム\_ダイバーシティ

〈カ〉：サーティフィケートプログラム\_カーボンニュートラル

〈グ〉：グローバル・オープン科目

〈実〉：実務経験のある教員による授業科目

〈ア〉：サーティフィケートプログラム\_アーバンデザイン

〈未〉：サーティフィケートプログラム\_未来教室

---

【X1501】 日本語論文作成A I [金子 広幸] 春学期授業/Spring .....	1
【X1505】 日本語論文作成B I [金子 広幸] 春学期授業/Spring .....	2



## 日本語論文作成 A I

金子 広幸

開講時期：春学期授業/Spring | 単位数：2単位  
 曜日・時限：水1/Wed.1 | キャンパス：市ヶ谷 / Ichigaya  
 備考（履修条件等）：

その他属性：

### 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

このクラスは、大学院で論文（修士）を執筆するために必要なアカデミックな日本語の力を向上させることを目的とします。このクラスの対象者は日本語の文章作成の経験があまりなく、まずはアカデミック・ライティングの基礎固めを希望している方です（**JLPTのN2以上**）。授業では、毎回、①論文を書くための表現を学び、②活動を行います。活動としては「書く活動」（1,500字程度の小論文を書く）と「話す活動」（アカデミックなプレゼンテーションと質疑応答）を行います。  
 ※第1回目の授業で、レベルチェックと面談を実施し、2回目から授業が始まります。受講希望の方は、第1回目、第2回目の授業に必ず出席してください。

### 【到達目標】

受講者は、以下のことをめざします。  
 ・論文を書くための基本的な表現を用いて、アカデミックな文章が書けるようになる。  
 ・問いを立て、日本語でプレゼンテーションが論理的にできるようになる。  
 ・論文の基本構造を学び、論文を書くためにはどのように発想をしなければならぬかがわかるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

### 【授業の進め方と方法】

学期の前半では、書く活動（1500字程度の小論文執筆）を行います。学期の後半では、話す活動（プレゼンテーションと質疑応答）を行います。前半と後半の両活動を中間・期末テストの評価対象とします。それ以外にも、小テストや宿題があります。テキストは、指定のものを用いますが、それ以外にも受講者のレベルに応じて、別途、配布資料で指導します。課題等の提出・フィードバックは「**Google Classroom**」を通じて行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：オンライン/online

回	テーマ	内容
1	課題作文と面接	レベルチェック
2	論文作成の基礎・練習 1	論文作成に必要な基本事項
3	論文作成の基礎・練習 2	テーマ、理由、経過を述べる
4	論文作成の基礎・練習 3	定義をする 判明していることを述べる
5	論文作成の基礎・練習 4	問題点、解決策を述べる
6	論文作成の基礎・練習 5	手順を述べる 指示詞を使う
7	論文作成の基礎・練習 6	引用する
8	各自の研究論文 1	序論 1
9	各自の研究論文 2	序論 2
10	各自の研究論文 3	本論 1
11	各自の研究論文 4	本論 2
12	各自の研究論文 5	結論 1
13	各自の研究論文 6	結論 2
14	発表・評価	発表・評価 研究論文のまとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

論文の執筆本授業の準備学習・復習時間は各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

アカデミック・ジャパニーズ研究会『改訂版 大学・大学院留学生の日本語② 作文編』（2015）アルク（1,600円+税）978-4757426320

【参考書】

友松悦子『小論文への12のステップ』（スリーエーネットワーク）  
 二通信子『留学生のための論理的な文章の書き方』（スリーエーネットワーク）  
 二通信子『留学生と日本人学生のためのレポート・論文表現ハンドブック』（東京大学出版）

【成績評価の方法と基準】

授業参加度:20%  
 課題作文の提出率と充実度:20%  
 各自の小論文40%  
 最終プレゼンテーション20%

\*欠席を4回以上すると単位は出ません。

【学生の意見等からの気づき】

アンケートは実施していません。

【学生が準備すべき機器他】

パソコン

【その他の重要事項】

\*授業の1週目、2週目に出席してください。3週目に初めて来る学生は、原則クラスを取ることができません。  
 \*クラスの人数が多い場合は選考します。  
 \*このクラスは2023年度まで「アカデミック日本語4（論文作成基礎）S」の名称でした。過去に旧クラスの単位を取った学生は、再度このクラスを取ることができません。

【Outline (in English)】

The purpose of this class is to enhance the academic Japanese ability for writing a master's thesis. The subjects of this class are those who have little experience in writing Japanese and want to solidify the basics of academic writing (JLPT N2 or higher).

In each class, you learn the expressions for writing a dissertation and carry out activities. Activities include "writing" (writing an essay about 1,500 characters) and "speaking" (academic presentation and Q & A). The standard time for preparation and review in this class is 2 hours each.

Your overall grade in the class will be decided based on the following In-class contribution :20%, Submission rate and quality of assigned essays: 20%, Term-end essay: 40%, Final presentation: 20%.

\* Level check and interview are conducted in the first lesson, and the lesson starts from the second class. Students wishing to register to the class must attend the first and second lessons.

【Others】

\* This class was called "Academic Japanese 4 (Basic Thesis Writing) S" until FY2023. Students who have earned credits in the past will not be able to take this class again.

\* The selection will be held if the number of applicants exceeds the class size limit.

## 日本語論文作成 B I

金子 広幸

開講時期：春学期授業/Spring | 単位数：2単位  
曜日・時限：水2/Wed.2 | キャンパス：市ヶ谷 / Ichigaya  
備考（履修条件等）：  
その他属性：

### 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

このクラスは、大学院で論文（修士・博士）を執筆するために必要なアカデミックな日本語の力を向上させることを目的とします。このクラスの対象とする学生は、すでにアカデミック・ライティングの基礎力があり、さらにすでにレポートや小論文のライティングの経験がある方です（原則として日本語能力試験（JLPT）のN1合格者とします）。授業では、毎回、①論文を書くための表現を学び、②活動を行います。活動としては、学期の前半に「話す活動」（自分の論文の研究計画のプレゼンテーションと質疑応答）を行い、学期の後半に「書く活動」（4,000字程度の論文形式で、自分の論文の概要を書く）を行います。※第1回目の授業で、レベルチェックと面談を実施し、2回目から授業が始まります。受講希望の方は、第1回目、第2回目の授業に必ず出席してください。

### 【到達目標】

受講者は、以下のことをめざします。  
・日本語で、研究計画のプレゼンテーションがきちんとできるようになる。  
・論文の序章・本論・結論の各構成要素を学び、適切な論文表現を用いて、自分の論文の概要が書けるようになる。  
・論文執筆のために、自分が収集しなければならない資料や情報が何なのかを考えられるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

### 【授業の進め方と方法】

学期の前半では、話す活動（自分の論文の研究計画をプレゼンテーションする）を行います。学期の後半では、書く活動（4,000字程度の論文形式で、自分の論文の概要を書く）を行います。前半と後半の両活動を中間・期末テストの評価対象とします。それ以外にも、小テストや宿題があります。テキストは、指定のものを用いますが、それ以外にも受講者のレベルに応じて、別途、配布資料で指導します。課題等の提出・フィードバックは「Google Classroom」を通じて行う予定です。

### 【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

### 【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

### 【授業計画】 授業形態：オンライン/online

回	テーマ	内容
1	課題作文と面接	レベルチェック
2	アカデミックな書き方1	アウトライン作成に必要な基本事項 課題・目的の提示
3	アカデミックな書き方2	定義 分類 図表の提示
4	アカデミックな書き方3	変化の形容 対比と比較
5	アカデミックな書き方4	原因の考察 列挙 引用
6	アカデミックな書き方5	同意と反論 帰結 結論の提示
7	各自の研究論文1	序論 (1)
8	各自の研究論文2	序論 (2)
9	各自の研究論文3	本論 (1)
10	各自の研究論文4	本論 (2)
11	各自の研究論文5	本論 (3)
12	各自の研究論文6	結論 (1)
13	各自の研究論文7	結論 (2)
14	発表・評価	発表・論文のまとめと解説を行う

### 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は各2時間を標準とします。

### 【テキスト（教科書）】

アカデミック・ジャパニーズ『改訂版 大学・大学院留学生の日本語④論文作成編』（2015）アルク（1,800円+税）978-4757426344

### 【参考書】

石黒圭『留学生のためのここが大切文章表現のルール』（スリーエーネットワーク）  
友松悦子『小論文への12のステップ』（スリーエーネットワーク）  
二通信子『留学生のための論理的な文章の書き方』（スリーエーネットワーク）  
二通信子『留学生と日本人学生のためのレポート・論文表現ハンドブック』（東京大学出版）

### 【成績評価の方法と基準】

授業参加度：20％  
課題論文の提出率と充実度：20％  
各自の論文：40％、  
最終プレゼンテーション：20％  
\*欠席を4回以上すると単位は出ません。

### 【学生の意見等からの気づき】

アンケートは実施していません。

### 【学生が準備すべき機器他】

パソコン

### 【その他の重要事項】

\*授業の1週目、2週目に出席してください。3週目に初めて来る学生は、原則クラスを取ることができません。  
\*クラスの人数が多い場合は選考します。  
\*このクラスは2023年度まで「アカデミック日本語5(論文作成応用)S」の名称でした。過去に旧クラスの単位を取った学生は、再度このクラスを取ることできません。

### 【Outline (in English)】

The purpose of this class is to enhance the academic Japanese ability for writing a dissertation (master and doctoral). The subjects of this class are those who already have the basics of academic writing and have written reports and essays (in principle, those who have passed the N1 level of the Japanese Language Proficiency Test (JLPT)).

In each class, you learn the expressions for writing a dissertation and carry out activities. In the first half of the semester, you conduct a "speaking activity" (presentation of your dissertation research plan and Q & A), and in the second half of the semester, a "writing activity" an overview of dissertation about 4,000 characters).

The standard time for preparation and review in this class is 2 hours each.

Your overall grade in the class will be decided based on the following  
In-class contribution :20%, Submission rate and quality of assigned essays: 20%, Term-end essay: 40%, Final presentation: 20%.

\* Level check and interview are conducted in the first lesson, and the lesson starts from the second class. Students wishing to register to the class must attend the first and second lessons.

### 【Others】

\* This class was called "Academic Japanese 5 (Advanced Thesis Writing) S" until FY2023. Students who have earned credits in the past will not be able to take this class again.

\* The selection will be held if the number of applicants exceeds the class size limit.

